

土木学会 コンクリート委員会
平成18年度 第4回規準関連小委員会 議事録

1. 日 時：平成18年12月1日（金） 15:00～18:00
2. 場 所：主婦会館
3. 出席者：橋本親典（委員長），鎌田敏郎（幹事長），伊藤康司，岩波光保，上野敦，江口和雄，小川洋二，黒井登起雄，酒井修平，新藤竹文，杉山隆文，武若耕司，椿龍哉，寺村悟，中村雅之，原田修輔，久田真，森濱和正，田中秀樹（記録） *敬称略

4. 配布資料

- 4-0 平成18年度第4回規準関連小委員会 議事次第
- 4-1 平成18年度第3回規準関連小委員会 議事録（案）
- 4-2 規準偏 HP 更新作業のご報告と内容確認のお願い
- 4-3-1 新旧比較 プレキャスト用エポキシ樹脂系接着剤
- 4-3-2 プレキャストコンクリート用アクリル樹脂接着剤の品質特性
- 4-4 規準偏新旧比較 目次一覧（土木学会規準，規準関連，JIS 規格）
- 4-5 新旧比較 E. 改訂のまとめ
- 4-6-1 新旧比較 G. 目次
- 4-6-2 新旧比較 G. 本文
- 4-7 JIS A5005 改訂に関する要望・意見のまとめ
- 4-8 Test method for leaching of trace elements from hardened concrete(draft)

5. 議事

(1) 委員長挨拶，連絡事項

橋本委員長より挨拶があり，以下の連絡事項があった。

- ・配布資料 4-4 の新旧対応目次案を常任委員会にて説明し，承認を得た。
- ・改訂版の講習会を開くよう指示があり了解した。講習会参加者を優先して販売するため，一般販売を，講習会後に順延する。

(2) 議事録確認

岩波委員より前回議事録（案）の報告があり，以下の修正を条件に承認された。

- ・4)「PC グラウト中の塩化物イオン量測定に関する規準が PC 技術協会から出ているので」を「PC グラウト中の塩化物イオン量測定に関する規準が PC 技術協会から出ているのであれば」に訂正。
- ・5)「JSCEK541 については，全面的に改訂する方向で検討する」は，「JSCE H 101 については，JSCE K 541 を参考に，全面的に改訂する」に修正。
- ・6)「吹き付けコンクリート関連の土木学会を新たに掲載する。」を削除

(3) 各 WG からの活動報告

1) ホームページ WG

上野委員から，配布資料 4-2 の説明があった。更新内容は，委員および WG 構成の修正と本委員会の議事録追加とし，更新費用は，52,500 円（税込み）で承認された。また，更新内容は，各委員が 12 月 11 日までに確認し，年内に本サーバへの掲載を行うことが承認された。

2) 樹脂系接着剤 WG

原田委員から，配布資料 4-3-1，4-3-2 の内容修正箇所の説明があった。今回の改訂で，アクリル

樹脂系接着剤の追加を検討しており、追加理由として、2液型アクリル樹脂系接着剤は、現行で規定している試験方法で確認が可能であり、試験結果（配布資料 4-3-2）および実績がある旨説明があった。

これらに関して以下の議論があった。

- ・アクリル樹脂系接着剤の追加は、本委員会での審議が必要であり、今回の改訂には間に合わない
ので、次回（2月27日）の議題にあげることにする。各委員は、各修正箇所について12月25
日までに意見をメールにて送信し、再度WGでとりまとめる。
- ・その他として、（橋げた用）の削除については、接着剤をコンクリート部材接続すべてに適用で
きるとの誤解を招く恐れがあり、現行のまま掲載する。

3)補修材料 WG

江口委員より、WG委員の交代について報告があり、川俣委員から皆川委員への交代については、WG構成員を変更（HP更新時に反映）し、北後委員から渡辺委員への交代については、代理出席としてお願いすることで承認された。

(4)規準編改訂に関する目次／本文の新旧対応について

1)セメント，骨材，混和剤 WG

森濱委員より、改訂内容の再説明があり、了承された。

2)鋼材，補強材 WG

椿委員より、改訂のまとめ（配布資料 4-5）にて、前回説明に追加して、JSCE 101, JSCE 121 および JSCE546 の修正内容の説明があり、承認された。

また、修正にあたって、配布されている CD（ワードソフト）と出版されているものとは、語句が若干違うので注意する必要があるとの報告があり、CDの最新版の有無について、鎌田委員から松沼氏に確認することとした。

3)フレッシュコンクリート WG

黒井委員より、JIS A 1113 の 2006 公示の確認がとれたとの報告があり、JIS A 1113-1999 から JIS A 1113-2006 に訂正することで承認された。また、あわせて G. 硬化コンクリートの 4.コンクリートの割裂引張強度試験方法も JIS A 1113-1999 から JIS A 1113-2006 へ修正する。

4)硬化コンクリート WG

久田委員より、配布資料 4-6-1, 4-6-2 の説明があり、関連規準の非破壊検査関連追加で、以下の議論があった。

- ・森濱委員より、4., 5., 8.~14.掲載の課題について説明があり、改訂資料に参考試験として掲載し、目次に載せるには時期尚早ではとの意見がだされた。
- ・非破壊検査協会の超音波に関する試験方法には、機器のキャリブレーションなどアンノウンな点も多いことが指摘された。
- ・上記理由により、今回改訂では、6.コンクリート構造物の目視試験方法、7.ドリル削孔粉を用いたコンクリート構造物の中性化深さ試験方法、および 15.コンクリートの乾燥湿潤試験方法（案）のみ掲載することで承認された。

なお、各項目については、資料は全文掲載する。土木研究所資料 No2331 は修正版があるので確認し、掲載する。

- ・残りの試験方法については、維持管理編に掲載する。武若委員より常任委員会に意見回答書として報告する。

5)製品施工機械等 WG

配布資料 4-4 について前回から特に修正がないことを再確認した。(原田委員)

6)補修注入材料等 WG

配布資料 4-4 について前回から特に修正がないことを再確認した。(江口委員)

7)今後の作業

- ・改訂版について、JIS と関連規準は、再確認の上土木学会事務局に提出し、規準編については、各 WG で改訂執筆作業を進め、平成 19 年 1 月 23 日 (14:00-17:00) に、委員長、幹事長ならびに各主査により最終確認を行う。
- ・講習会は、改訂内容を約 1 時間程度にまとめて、他の各編改訂内容と併せて実施する。講習会開催時期は、平成 19 年 4 月 20 日ごろを目処に橋本委員長が調整する。

(4)その他

1) J 漏斗の寸法誤差の問合せについて、土木学会販売のものについては、寸法誤差が記載されているので、これを参考とする。

2)配布資料 4-8 の英訳文については、12 月 25 日までに確認の上、久田委員に連絡する。

3)練混水に関する質問回答書は、黒井委員が確認する。

4)2 月 27 日本委員会付議事項

- ・樹脂系接着剤 WG のアクリル系樹脂の追加について
- ・規準編英文原稿提出
- ・講習会内容、日程調整

(5)次回委員会開催

日時：平成 18 年 4 月 20 日暫定予定 (講習会日程と併せて行う。)

場所：土木学会 (予定)

以上